

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	言語学		単位時間数	30 単位時間
担当教員	鈴木 あすみ	履修分類	基礎科目	科目分類	言語	

【授業概要】 言語学の主要な研究対象を取り上げ、それらを分析するための基本的な考え方を学ぶ。授業は講義形式で進める。授業資料はClassroomにて配布。

【到達目標】 言語学の基礎知識を用いた議論に参加できる

【授業内容 (予定)】

1	イントロダクション
2	母音と子音
3	音素
4	アクセントとイントネーション
5	形態素
6	品詞
7	文の構造
8	テンスとアスペクト
9	ヴォイス
10	モダリティ
11	修飾
12	日本語の位置 (世界の中で見た日本語、公用語、方言)
13	練習問題 (1)
14	練習問題 (2)
15	総括

【評価方法】 小テスト、模擬テスト

【教科書】 指定なし。授業名で参考文献を適宜紹介する。

【授業の形式と教員紹介】 講義

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 流動研究員 (聴者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	応用言語学		単位時間数	30 単位時間
担当教員	市田 泰弘	履修分類	基礎科目	科目分類	言語	

【授業概要】 言語への理解を深めるために、応用言語学の基礎を学ぶ。
テキスト『ことばの力学』にもとづいて学生が発表し、ディスカッションを行う。

【到達目標】 応用言語学の基礎の知識を活用した議論に参加できる

【授業内容 (予定)】

1	標準語と方言
2	標準語と方言 (2)
3	国家と言語
4	国家と言語 (2)
5	バイリンガルは悪か
6	バイリンガルは悪か (2)
7	外国語教育
8	外国語教育 (2)
9	手話と言語
10	手話と言語 (2)
11	言語と文化
12	言語と文化 (2)
13	無意識への働きかけ—政治・メディアのことば、法と言語
14	無意識への働きかけ—政治・メディアのことば、法と言語 (2)
15	言語障害、言語情報処理はどこまで来たか

【評価方法】 授業内での発表とレポート

【教科書】『ことばの力学』(岩波新書)

【授業の形式と教員紹介】 輪読と発表およびディスカッション
手話通訳学科元主任教官 (手話通訳士)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	日本語		単位時間数	30 単位時間
担当教員	鈴木 あすみ	履修分類	基礎科目	科目分類	言語	

【授業概要】 手話通訳技能認定試験の試験対策を行う。授業は講義形式で進める。授業資料はClassroomにて配布。

【到達目標】 手話通訳士試験の筆記科目「国語」で、合格点を取る

【授業内容 (予定)】

1	イントロダクション
2	語の成り立ちと意味
3	複合語
4	類義語・対義語
5	語種
6	活用
7	単文と複文
8	接続詞
9	比喻
10	慣用句
11	敬語
12	日本語の書記 (正書法・仮名遣い)
13	過去問 (1)
14	過去問 (2)
15	総括

【評価方法】 小テスト、模擬テスト

【教科書】 『手話通訳者のための日本語演習』 (全国手話研修センター)

【授業の形式と教員紹介】 講義

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 流動研究員 (聴者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	文化人類学		単位時間数	30 単位時間
担当教員	吉田 優貴	履修分類	基礎科目	科目分類	社会	

【授業概要】 ・通訳者の資質としての「異文化理解」の基盤をつくる。
 ・文化人類学業界における理論はさておき、主としてアフリカ（特にケニア）のいくつかの具体事例から、文化人類学的思考を身につける。

【到達目標】 異文化理解を求められる場面での人類学的な考え方にもとづいた議論に参加できる

【授業内容 (予定)】

1	オリエンテーション
2	アフリカの多言語状況のとらえ方
3	ケニアでの聾学校教育の流れと手話使用
4	ケニアにおける身体を通じた意思疎通と手話
5	聾学校での子供同士の会話、ダンス
6	ケニアのろう者と聴者のやりとりから見えること
7	アフリカの人々と食 (1) : 食物、料理の特徴
8	アフリカの人々と食 (2) : 「共食」の習慣
9	アフリカの人々と食 (3) : 飲酒と禁酒
10	アフリカの人々と食 (4) : 飲酒とキリスト教信仰、植民地統治
11	モバイル・テクノロジーとアフリカの人々 (1) : 携帯電話の普及と使用
12	モバイル・テクノロジーとアフリカの人々 (2) : キャッシュレス決済の黎明期
13	モバイル・テクノロジーとアフリカの人々 (3) : オンラインの礼拝、キャッシュレスの献金
14	モバイル・テクノロジーとアフリカの人々 (4) : オンラインとオンサイト
15	期末試験 (約40分) 、余った時間で質疑応答、ビデオ上映

【評価方法】 平常点 (授業日の翌月曜締切りで質問・コメントをメールにて提出) 4割 + 期末テスト6割

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研究機関研究員、明治学院大学社会学部非常勤講師 (聴者) 、博士 (社会学・一橋大学)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	社会学		単位時間数	15 単位時間
担当教員	中島 武史	履修分類	基礎科目	科目分類	社会	

【授業概要】社会学の基礎的な概念、障害と言語を取り巻く議論を学ぶことを通して、手話・聴覚障害者を取り巻く問題を客観的に理解する方法を身につけ、分析的に理解できるようになる。

【到達目標】 手話や聴覚障害者を取り巻く問題を分析的に理解する。

【授業内容 (予定)】

1	イントロダクション：社会学の問題設定、手話の社会的状況について (グループワーク)
2	社会学概説①：社会学とは、社会と個人
3	社会学概説②：マイノリティ、障害者、差別の構造
4	社会福祉学：障害者と社会、優生保護法
5	手話の社会言語学①：手話は誰のものか、言語発達、バイリンガル
6	手話の社会学：障害者運動、手話言語条例、言語権
7	手話の社会言語学②：コミュニケーションの秩序、手話通訳と障害者差別解消法
8	まとめのディスカッション (グループワーク)

【評価方法】 授業態度、ディスカッションにおける発表

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義、ディスカッション
兵庫教育大学 特別支援教育専攻障害科学コース 准教授

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	現代社会		単位時間数	30 単位時間
担当教員	川口 千佳	履修分類	基礎科目	科目分類	社会	

【授業概要】 通訳者の資質として必要な知識を習得する。
手話通訳者に必要な一般教養としての地理・世界史・日本史・政治経済を学ぶ。日本語の読む/書く/聞く/話す力を伸ばすため、レポートや発表を毎回の課題とする。

【到達目標】 手話通訳者に必要な地理・世界史・日本史・政治経済などの基本的な知識を身につけ、それらについて自分のことばで説明できるようになる。

【授業内容 (予定)】

1	オリエンテーション
2	長文読解
3	長文読解・要約
4	レポートの書き方
5	レポートの書き方
6	レポートの書き方
7	地理・歴史
8	地理・歴史
9	地理・歴史・宗教
10	地理・歴史・宗教
11	政治・経済
12	政治・経済
13	政治・経済・法律
14	政治・経済・法律
15	まとめ

【評価方法】 授業態度、レポート、発表、小テスト
小テストについては、基準に満たない者には再テストを課して確実な理解・定着につなげる

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義、レポート、小テスト
手話通訳学科専任教官 (手話通訳士)

令和6年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1-2年生合同 (34・35期)	授業科目	心理学		単位時間数	16 単位時間
担当教員	野寄 茉莉	履修分類	基礎科目	科目分類	心理	

【授業概要】 手話通訳に必要な心理学の基本的な知識を学ぶ

【到達目標】 心理学の基本的な知識を用いた議論に参加できる

【授業内容 (予定)】

1	心理学とは、学びのしくみ①—知能の心理学
2	学びのしくみ②—記憶の心理学
3	社会性とは①—自己を知る
4	社会性とは②—他者を知る
5	社会性とは③—社会行動
6	心の個人差①—パーソナリティの心理学
7	心の個人差②—遺伝と環境の心理学
8	心の個人差③—発達障害とその支援

【評価方法】 複数回のレポートによる

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義形式

弘前大学教育学部講師 (聴者)、博士 (学術・東京大学)、教育心理学

令和6年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1-2年生合同 (34・35期)	授業科目	カウンセリング		単位時間数	16 単位時間
担当教員	河崎 佳子	履修分類	基礎科目	科目分類	心理	

【授業概要】聴覚障害者カウンセリングの実情を知る。
また、心理相談における手話通訳者の役割、心理士との関係、心理相談通訳の専門性について学ぶ。

【到達目標】 聴覚障害者カウンセリングの実情および心理相談における手話通訳者の役割、心理士との関係、心理相談通訳の専門性にもとづく議論に参加できるようになる

【授業内容 (予定)】

1	聴覚障害者カウンセリングの現場から①：自傷行為や「親密欲求」がエスカレートした事例
2	聴覚障害者カウンセリングの現場から②：母親から「息子が怖い」と怯えられた事例
3	聴覚障害者カウンセリングの現場から③：周りから「あなたはろう者の理想だ」と羨ましがられた事例
4	聴覚障害者カウンセリングの現場から④：職場での人間関係に苦しむ事例
5	心理相談における手話通訳①：心理士と通訳者の連携
6	心理相談における手話通訳②：手話通訳者の "思い"
7	心理相談における手話通訳③：心理相談通訳の専門性
8	心理相談における手話通訳④：展望

【評価方法】 複数回のレポートによる

【教科書】「きこえない子の心・ことば・家族」(明石書店)、「聴覚障害者の心理臨床②」(日本評論社)

【授業の形式と教員紹介】 講義とグループワーク

神戸大学教授(聴者)、博士(教育学・京都大学) 臨床心理学、発達臨床心理学

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	リハビリテーション概論		単位時間数	14 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	基礎科目	科目分類	知識	

【授業概要】 障害者福祉についての基礎的な内容を学び、社会福祉事業に関わる者としての視点を養う。

【到達目標】 渉外があるということは、どういうことか、障害によって発生する生活課題の解決にはどのような介入やリハビリテーションが必要か考えることができるようになる。また、社会に戻ることに様々な障壁がある事例を通して、リハビリテーションの概念とともに、自立・社会参加、共生社会の実現という視点が持てるようになることを目標とする。

【授業内容 (予定)】

1	オリエンテーション・障害とは
2	障害者福祉とは
3	障害者福祉の理念
4	障害者福祉の歴史
5	障害者総合支援法
6	障害者に関する法律
7	ソーシャルワーク・関連分野

【評価方法】

毎回講義終了後に提出するアクションペーパーおよび講義への参加姿勢、レポート課題により評価する。

【教科書】

特に指定しない。毎回、スライドや資料を提供する。

【授業の形式と教員紹介】

基本的には、パワーポイントで作成した資料を基に行う講義形式で実施する。適宜、小テスト、グループ学習や調べ学習を導入し、発言を求めることもある。

手話通訳学科専任教官 (手話通訳士)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	社会福祉概論		単位時間数	16 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	基礎科目	科目分類	知識	

【授業概要】

社会福祉についての基礎的な内容を学び、社会福祉事業に関わる者としての視点を養う。

【到達目標】

わが国の社会福祉制度の発展過程を社会的、歴史的、経済的背景をふまえて学び、国内外の制度や歴史、資源、具体的手段について理解する。現在社会におけるニーズや社会問題を知り、その解決のための制度や政策、地域社会に求められる役割や機能について理解する。

【授業内容 (予定)】

1	オリエンテーション・社会福祉とは
2	社会福祉の理念と内容
3	基本的人権と社会福祉
4	社会福祉の法体系・行財政と計画
5	社会福祉の実施機関・事業・施設
6	社会福祉専門職と相談援助・権利擁護
7	近年の社会福祉の状況
8	社会福祉の動向と展望

【評価方法】

毎回講義終了後に提出するアクションペーパーおよび講義への参加姿勢、レポート課題により評価する。

【教科書】

特に指定しない。毎回、スライドや資料を提供する。

【授業の形式と教員紹介】

基本的には、パワーポイントで作成した資料を基に行う講義形式で実施する。適宜、グループ学習や調べ学習を導入し、発言を求めることもある。

手話通訳学科専任教官 (手話通訳士)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	法学概論		単位時間数	16 単位時間
担当教員	松田 峻	履修分類	基礎科目	科目分類	知識	

【授業概要】手話通訳に必要な法学に関する実践的な基本知識を学ぶ。
最終回で、模擬裁判を行う。

【到達目標】 法学の基本用語について、その意味や意義を説明できる。

【授業内容（予定）】

1	刑事訴訟手続①：警察と検察
2	刑事訴訟手続②：逮捕～拘留、取り調べと手話通訳
3	刑事訴訟手続③：刑事裁判
4	刑事訴訟手続④：証拠調手続
5	司法通訳倫理①：司法通訳人の役割
6	司法通訳倫理②：「司法通訳倫理原則（案）」
7	裁判員制度
8	模擬裁判

【評価方法】 用語の理解を問う小テスト、ディスカッションにおける発表

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 講義形式。最終回で模擬裁判を行う
弁護士（ろう者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	医学概論		単位時間数	10 単位時間
担当教員	佐藤雅子・堀岡美由紀	履修分類	基礎科目	科目分類	知識	

【授業概要】 コミュニティ通訳で最も通訳件数が多いのは「医療場面」における通訳である。医療通訳を行うにあたり、通訳者として必要な知識を身につける。

【到達目標】 医学の基本的な用語について、その意味や意義について説明することができる

【授業内容 (予定)】

1	病院のしくみ (医療機関とは、保険医療と自費医療など)
2	からだのしくみと病気 1 骨と筋肉、皮膚
3	からだのしくみと病気 2 脳神経、循環器
4	からだのしくみと病気 3 消化器、内分泌、泌尿器
5	病気、検査、薬 (処方箋含む)

【評価方法】 用語の理解を問う小テスト

【教科書】 なし

当学院脳卒中リハ認定看護師教育課程専任教官 (看護師)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	情報リテラシー		単位時間数	14 単位時間
担当教員	深井 裕美子	履修分類	基礎科目	科目分類	表現	

【授業概要】 Windowsパソコンを用いて、その基本操作について学ぶ。基本アプリケーションやインターネットサービスを用いた問題解決課題に対して、インターネットでの検索も含めて自力で解決できる力を身につける

【到達目標】 パソコンの基本操作ができるようになる
基本アプリケーションを用いて問題解決ができるようになる
インターネットのしくみとその活用法について理解し、実際に活用できるようになる

【授業内容 (予定)】

1	パソコンの基本操作 (メール、グーグルクラスルームなど)
2	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (ワード) 1
3	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (ワード) 2
4	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (エクセル) 1
5	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (エクセル) 2
6	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (パワーポイント) 1
7	パソコンの基本アプリケーションの使い方 (パワーポイント) 2
【評価方法】 ワードの文書やパワーポイントの発表資料を実際に作成する課題	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 個別学習室で一人一台のPCを用いて、実際に作業を行いながら授業を進める。 株式会社ネスト代表取締役、日本映像翻訳アカデミー講師 (聴者)	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	身体表現論		単位時間数	10 単位時間
担当教員	雫境	履修分類	基礎科目	科目分類	表現	

【授業概要】 呼吸と身体の動きを認識し、身体表現力を高める。
【到達目標】 呼吸と身体の動作が自然にできる。

【授業内容 (予定)】	
1	呼吸法・呼吸と身体動作の関係
2	手指の運動
3	足腰の運動
4	身体動作の効率性
5	空間と身体について
【評価方法】 通常の練習における態度と技能の習得の達成度にもとづき評価する	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 授業回数 5回 (2グループ×5回) 舞踊家、日本社会事業大学非常勤講師 (ろう者)	